

教科名	理 科	科目名	化学基礎（2年次） 自然【3単位】・人文【2単位】	
授業形態	講義および実験			
選んでほしい生徒	化学と日常生活や社会とのかかわりに興味・関心があり、深く学んでみたいと考えている生徒			
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 本的な観察・実験の方法を身に付ける。 2 身の回りの物質のつくりや反応について理解する。 3 身の回りの現象を筋道立ててとらえる活動を通して、科学的に探求する力を身に付ける。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【1学期】 第1編 物質の構成と化学結合 <ul style="list-style-type: none"> ・物質の構成 ・物質の構成粒子 ・粒子の結合 【2学期】 第2編 物質の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・物質量と化学反応式 ・酸と塩基の反応 【3学期】 <ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応 ・探究活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物質の分類、物質を構成する原子などの粒子について学習する。 ・物質の量を表す物質量と代表的な化学反応（酸と塩基、酸化と還元）について学習する。 	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> ・化学の歴史や日常生活での利用に興味を持ち調べようとする。 ・原子やイオン、物質量、酸と塩基、酸化と還元などについて理解し詳しく調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な化学現象を日常生活や社会との関連を図りながら、思考することができる。 ・身近な化学現象を化学反応や物質の性質と関連づけて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学現象を調べる観察と実験を行いそこから得られた結果を記録することができる。 ・実験結果をグラフに表し、結果を法則と結びつけて分析することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の性質や化学反の量的関係を理解している。 ・化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方ができる。 ・日常生活と科学技術との関係がわかる。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、実験・観察のレポート及び課題等の提出物を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 筋道を立てて考えることが大切です。また、継続して学習することが大切です。そのため、欠席したりせず、集中して授業に取り組むこと。 2 薬品や火気を取り扱うこともあります。安全面には十分な注意すること。 			
教材費	実験ノート 400円、問題集 400円			
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1 何かの検定につながるようなことはありません。 2 大学へ進学する場合は、必要になることがあります。大学進学希望者は、必ず相談してください。 			